



PRESS RELEASE

Osaka Convention & Tourism Bureau

With コロナ時代に産官学連携のもとで

社会経済モデルの創出と地方創生の推進を目指す

「日本みどりのプロジェクト推進協議会」の 設立総会・シンポジウムを開催いたしました

大阪観光局、長野県、高知県、三重県、鳥取県、熊本県、長野県観光機構が設立メンバーとなり、日本の自然（みどり・花）を核に、都市と地方が連携し地方創生を推進することを目的とした「日本みどりのプロジェクト推進協議会」を立ち上げ、設立記念シンポジウムを開催しました。会長には長野県阿部知事が就任して、今後、新たに参加する自治体・企業・大学や研究機関を募ります。

日時 令和2年10月25日（日）午後1時から5時まで

場所 八芳園（東京都港区白金台1-1-1）

内容 ①【設立総会】（メディア非公開）

時間：午後1時から1時45分まで

設立団体：（公財）大阪観光局、長野県、高知県、三重県、鳥取県、熊本県、（一社）長野県観光機構

②【設立記念シンポジウム】（メディア公開）

時間：午後2時から5時まで

参加者：94名

7省庁16名、11自治体、17企業、6大学・研究
機関団体 他

内容：■**基調講演** 環境大臣 小泉進次郎 氏

■**アンバサダーVTRメッセージ** 渡辺謙 氏、隈研吾 氏

■**トークセッション** 市川海老蔵 氏

■**リレートーク**

林野庁、環境省、長野県、高知県、（公社）2025年日本国際博覧会
協会、日本旅行、（株）八芳園、リバー産業（株）、凸版印刷（株）

■**記念撮影&記者会見**

<日本みどりのプロジェクト推進協議会とは>

異常気象やコロナ禍により、環境問題と経済回復の同時達成を目指す「グリーンリカバリー」が各国で叫ばれる中、自然との共生・調和、生態系の維持を前提とした社会経済モデルへの転換と脱炭素社会・SDGs 実現を目的として、自然資源（みどり）を核に都市と地方が連携し、with コロナ時代における、自然豊かな地方での様々な事業・しごととの創出を産官学が連携しておこなっていくものです。

お問合せ先

公益財団法人大阪観光局

マーケティング事業部 砂野・谷村

・木村 TEL 06-6282-5910

PRESS RELEASE

Osaka Convention & Tourism Bureau

■日本みどりのプロジェクト推進協議会 設立総会



■基調講演 環境大臣 小泉進次郎 氏

小泉進次郎環境相は基調講演の中で、「日本みどりのプロジェクト」の活動内容を全面的に協力できる内容と評し、持続可能な経済社会のリデザインが詰め込まれていると話した。

その上で、①脱炭素社会の移行 ②循環型経済サーキュラエコノミーへの移行 ③分散化社会への移行の3つの移行を具体的に進めていく仲間であるとして、菅政権でも重要政策にあげている経済構造の変化を伴うグリーン化にも則しており、経済界もゼロカーボンに舵を切った絶妙なタイミングと語った。



お問合せ先

公益財団法人大阪観光局

マーケティング事業部 砂野・谷村

・木村 TEL 06-6282-5910

PRESS RELEASE

Osaka Convention & Tourism Bureau

■アンバサダーVTRメッセージ 渡辺謙氏

災害が多い日本のみどりを蘇らせていく「日本みどりのプロジェクトの活動」に期待しており、アンバサダーとして長いつきあいを楽しみにしている。



■市川海老蔵氏 トークセッション

溝畑大阪観光局理事長、竹節山ノ内町長と3者でトークセッションをおこない、植樹にかける想いを語った。

自身が関われる活動として、妻の故小林麻央さんから薦められて植樹を始めた。人とのつながりの中から始めたみどりの取組みを、これからは視野を世界に活動を拡げたい。

文化人として、また芸能の世界に居るこの自分を使って頂き、環境の取組みを世界に広げることが出来るなら協力したい。

一つしかない緑・空・海をみんなで死守し、みどりを復活させる取組みをこの「日本みどりのプロジェクト」と共に活動していきたい。



お問合せ先

公益財団法人大阪観光局

マーケティング事業部 砂野・谷村

・木村 TEL 06-6282-5910



PRESS RELEASE

Osaka Convention & Tourism Bureau

■日本みどりのプロジェクト 設立記念写真



お問合せ先

公益財団法人大阪観光局

マーケティング事業部 砂野・谷村

・木村 TEL 06-6282-5910